

(災害第27号書式)

記入日 _____年 _____月 _____日

災害復興住宅融資の先行補修等の利用に関する申出書

独立行政法人住宅金融支援機構 御中

申込本人	氏名	
連帯債務者	氏名	
担保提供者	氏名	

私（申込本人及び連帯債務者をいいます。）は、独立行政法人住宅金融支援機構（以下「機構」といいます。）からの災害復興住宅融資の借入に当たり、下記1のとおり申し出ます。

また、私が既に災害復興住宅融資（先行補修）の申込みを行っている場合は、災害復興住宅融資（先行補修）以外の災害復興住宅融資（補修）の申込みについて、下記1に加えて下記2のとおり申し出ます。

記

1 工事の計画等

		工事①		工事②（工事①を除くもの）	
		費用	借入希望金額	費用	借入希望金額
補修の場合	補修工事	万円	万円	万円	万円
	整地工事	万円		万円	
	引方移転工事	万円		万円	
建設の場合	建設工事（*）	万円	万円		
	整地工事	万円			
合計		万円	万円	万円	万円

注1 引方移転工事費は、補修工事費と併せてお借入れいただきます。

注2 整地工事費は、建設工事又は補修工事に付随して行う工事に係る費用である場合にお借入れいただけます。

（*）建設工事は、災害復興住宅融資（建設）の場合で整地工事費のみの融資を申し込む場合にご記入ください。

2022年（令和4年）4月

【以下、段階的に補修工事を行う場合のみ】

2 災害復興住宅融資（先行補修）の利用に当たり次の①から⑥の事項を了承します。

- ① 災害復興住宅融資（建設）及び災害復興住宅融資（購入）の利用をしません。
- ② 災害復興住宅融資（先行補修）以外の災害復興住宅融資（補修）の利用に当たり、補修の融資限度額から災害復興住宅融資（先行補修）に係る資金交付額を控除した金額を限度として利用します。
- ③ 災害復興住宅融資（先行補修）の融資額が、300万円を超える場合は、補修する住宅及びその敷地について機構に担保提供します。
- ④ 災害復興住宅融資（先行補修）の融資額が300万円以下であっても、災害復興住宅融資（先行補修）及び災害復興住宅融資（先行補修）以外の災害復興住宅融資（補修）の融資額の合計金額が300万円を超える場合は、災害復興住宅融資（先行補修）及び災害復興住宅融資（先行補修）以外の災害復興住宅融資（補修）のそれぞれについて補修する住宅及びその敷地を機構に担保として提供します。
- ⑤ 災害復興住宅融資（先行補修）については、代理受領を行いません。
- ⑥ 災害復興住宅融資（先行補修）の金消契約時に、補修する住宅の登記事項証明書を提出します。

<金融機関確認欄>

I 本申込みは、次に該当することを確認した。

災害復興住宅融資（先行補修）に該当する。

「整地先行」（注1）に該当する。

「整地単独」（注2）に該当する。

（注1）災害復興住宅融資（先行補修）について整地工事費のみの融資を先行して申し込み、整地工事以外の補修については、災害復興住宅融資（先行補修）の申込後、災害復興住宅融資（先行補修）以外の災害復興住宅融資（補修）で申し込むもの。

（注2）整地工事以外の補修（全部改築工事を含む。）又は建設工事については自己資金等により行うもの。

災害復興住宅融資（先行補修）申込み後の災害復興住宅融資（補修）の申込みに該当する。

II 借入希望金額の合計額が次のとおりとなっていることを確認した。

借入希望金額の合計額が1,200万円以下となっている。

災害復興住宅融資（先行補修）の顧客番号	<input type="text"/>
災害復興住宅融資（先行補修）申込み後の災害復興住宅融資（補修）の顧客番号	<input type="text"/>

2022年（令和4年）4月